



関東大震災
100年寄稿

関東大震災福田村事件100年犠牲者を悼む

差別が人の命を奪う

1923年9月1日、関東地域に巨大な地震（関東大震災）が発生した。死者・行方不明者105000人（中央防災会議まとめ）ほかの災害をふくめて、「関東大震災」といわれる。この、天災と忘れてはならない人災がある。多くの朝鮮人・中国人・そして日本人も虐殺されている史実がある。

正確な情報が途絶える中で、地震の不安と、恐怖のなか、朝鮮人の不穏行動等の流言飛語（国家権力が流布したともいわれる）が飛び交い民衆は、それに備えて自警団を組織し地域を警戒していた。

千葉県東葛飾郡福田村・田中村（現野田市・柏市）でも自警団が組織されていた。

9月6日大地震の5日後、早朝旧野田町を立した一団がいた。香川県からの薬行商の一行である。彼らは福田村の利根川の三つ堀の渡しを目指していた。渡しに着いた一行は、ここで惨劇にあう。15人は「不審者」とされ自警団等住民に襲われ9人が殺害された。2歳、4歳、6才の幼児、妊婦も殺害された。これが「福田村事件」である。事件後、80年の2003年に、「追悼慰霊碑（墓碑）」が建立された。真相説明も進む。

「福田村事件」をいわれる「讃岐弁」から「朝鮮人とおこされたといわれる事」と誤認してこの殺人事件が多いが、私はこの「誤認説」は否定している。詳しく述べられないが様々な差



追悼慰霊碑について語る市川氏
代表 市川 正廣

福田村事件追悼慰霊碑保存会

「福田村事件」である。事件後、80年の2003年に、「追悼慰霊碑（墓碑）」が建立された。真相説明も進む。

「福田村事件」をいわれる「讃岐弁」から「朝鮮人とおこされたといわれる事」と誤認してこの殺人事件が多いが、私はこの「誤認説」は否定している。詳しく述べられないが様々な差

別問題が起こした「複合差別殺人事件」と考えている。

事件100年を迎えた今、犠牲者を悼む「追悼式」も実施される。この時期に合わせて映画も上映されるようだ。史実が正しく伝わり「負の歴史」であつてもしつかりと直視して、二度とこの様な事が起きないように、事件を教訓として「人権教育」等に更に取り組まれる社会を目指したい。

憲法九条はなぜあるの

78年前に日本は戦争で英米他の連合国に無条件降伏しました。ポツダム宣言を受け入れ、戦争をしない平和国家をつくと誓い日本国憲法に第九条を定めました。主権者である日本国民は、他国を武力による威嚇また行使は永遠にしない、そしていかなる戦争の道具も持たず、二度と戦争をしないことを政府へ義務として負わせています。

8月の例会では
沖縄戦のビデオ番組「置き去りにされた子どもたち」を観て話し合いをしました。

- ▶ 沖縄戦では多数の子どもたちが身寄り先を失ったのに本土復帰が遅れたこともあり今も手がかりが掴めない人々がいる
- ▶ 恩給は軍人や一部の人に限られ、戦地や本土の各地で空襲に遭った孤児には何も保障がなされていない
- ▶ 琉球や沖縄は昔から差別されてきた歴史があり、本土の同和地区も同じだ

話し合った主な内容



何なに



例会
たより

森 達也 監督
映画「福田村事件」全国公開中

今月の予定です	
＜コロナの感染状況で変更・中止することがあります。＞	
9月3日(日) 13:30～16:40	DVD視聴 基地の街沖縄の女性たち「沖縄の夜を生きて」と意見交換 南部梅郷公民館 南地域九条の会
9月9日(土) 13:30～16:00	野田・九条の会 DVD「昭和の選択 平和を手放した日 9月例会 ～幣原喜重郎 国債協調外交の誤算～」を視聴&意見交換 中央公民館 講座室 野田・九条の会
9月9日(土) 16:30～17:30	9の日 行動 ボードでアピール&九条通信配布 愛宕駅 改札前広場 野田・九条の会
9月19日(火) 13:30～15:30	ちょっと硬派な「おしゃべりカフェ」 社会や政治のことなど気軽に おしゃべりしましょう。 イオン ノア 3階 市民活動第2会議室 野田・九条の会
10月1日(日) 13:30～16:40	DVD視聴と意見交換 「ジャニーズ性加害問題」 南部梅郷公民館 南地域九条の会



低賃金と国の財政を考えよう

□ ずっと実質賃金が下がっている

日本全体の実質賃金はこの30年下がりっぱなしで100万円ほど低下したと言われている。長期にわたる低下は日々のやり繰り生活で慣らされてしまい、この状態がおかしなことに認識されにくくなっている。

'97年を境に物価が低下するつまりデフレ経済にずーと突っ込み続けている。物価が下がることはいいことだとの考えもあるがそうとも言えない。デフレは所得の低下をもたらす。するとこのままでは先が不安だ、何かしなければさして何をしよう、そここのところを以下考えてみよう。

□ 消費税増税そして財政悪化している？

収入が増えず出費が増えるばかりのいま負担感を強く感じるのが消費税といえる。'89年3%で始まり5、8、10%と上がり続け、さらに増税を匂わされていて先が心配になる。当初直間比率の是正と説明され、今は全額を社会保障に当てていると政権は説明するが一向にそうは感じられず負担感は増すばかりだ。そこで消費税とは何かと疑問が湧く。実は間接税と説明されていたのが消費者からの預かり金ではなく事業者への直接税であったこと。さらに企業減税のためだとの与野党の一部国会議員からの指摘は、法人税率が当初の40%から20%台に半減している実態になるほどと思う。消費税率を上げるとの経団連から政府への要

求は大企業優遇制度だったのかと分かりやすい。

次に財務省の「国民一人当たり1千万円の借金を抱えていて子孫への先送りは許されない」との説明に人々は増税されても仕方ないかと考える。

ここでも本当にそうなのと確かめたくなる。先の議員は政府の借金1200兆円は国民にとっては資産、借金ではないと言いデフレ対策には通貨発行権で財政出動をし緊縮財政から積極財政へと説く。そして大学まで教育費無償、低賃金といわれる保育、看護、介護関係者の給与底上げなど国費で可能という。消費税率は柔軟にし今は5ないし0%へ、その代替は法人税、所得税を累進課税制に変更したらどうかと提案する。

□ 話し合ってみよう

ここでは消費税そして財政を取り上げたが次の衆議院選挙後には先送りとなっている防衛予算倍増43兆円の要否、そして負担は増税また通貨発行つまり国債かの議論となる。これらは生活に直接影響する課題であり、この本質はどうなっているかを議論し明らかにしたい。無関心ではただただモヤモヤ感が貯まるばかりになってしまう。

何かおかしさを解消するにはまずは調べ、疑問をぶつけ合うこと、これをみんなのできるようになりたい。



”母の声”

押し付け憲法は間違っている 竹峰 寛子

今年が亡母生誕100年の年である。65年前、朝刊を広げた母が「これは間違っている！」と声を上げた。『戦争放棄はマッカーサーの提案』というように見出しだったと記憶する。

その頃「再軍備のための9条改正」を掲げる改憲論者は「占領下で押し付けられた憲法は改正が必要」と主張し、そのための憲法調査会が始動していた。母は、幣原さんの大親友であった父親から、幣原さんがマッカーサーに戦争放棄の理想を語った話を聞き、幣原さんから直接「もう戦争なんかできないじゃないか」という言葉も聞いている。それらを記録していた母は、事実を伝えねば

ならない責任感から、憲法調査会に資料を提出した。

最終的に調査会は「押し付け憲法論」を否定し、さらに「憲法改正」を示唆しない報告書を提出したのだ。

母はよく平和憲法の話をしてくれた。戦争放棄は軟弱外交と揶揄されながら平和外交を貫いた幣原さんの信念からの言葉であり、何より、辛い戦争を体験した一人一人の心からの叫びであったはずだ。

しかし、日本政府は未だに「押し付けられた憲法」だからと改憲を煽り、世界3位の軍事予算で戦争をするための準備をしている。その愚かさに、私たちは「間違っている！」と声を上げねばならない。そして、戦争の被害と加害の真実と背景を知り、歴史を学び伝える努力を重ねていかねばならない。

それが9条の重要性の認識につながると信じている。

